

◆ 会員紹介

特定非営利活動法人 全国街道交流会議

2002年に発足した「全国街道交流会議」は、全国の会員自治体等と協働して“街道から道路・高速道路まで”をテーマに各地で歴史的街道を通じた地域文化の見直しとそれらを基盤にしたまちづくり、みちづくりに取り組んでいる。

前回の会員紹介では『全国大会』の取り組みを紹介したが、今回は国土交通省の社会実験を活用した街道地域の課題解決の事例についてご報告をしたい。

●これまでの主な社会実験



高山市（岐阜県）

東海北陸自動車道ICからの誘導と町並外縁部駐車場を活用した重伝建地区「古い町並」全域の回遊性向上（平成21年度）



鳥取市、智頭町（鳥取県）

鳥取自動車道から『因幡街道』地域への誘導と道の駅のSA代替施設化（標識令の改正につながった）（平成23年度）



高山市（岐阜県）

道路を活用した住民主導の収益活動等による道路・町並の維持・管理の仕組みづくり（平成28年度）

●「箱根八里」を『街道観光』の聖地にー

旧東海道「箱根八里」街道資源の観光化に向けた交通体系強化社会実験

1000年を超える国土の主軸である『東海道』は、観光社会資本として大きな潜在力を秘めており、沿線地域の中でも首都圏に接する『箱根八里』（小田原市、箱根町、函南町、三島市の間・約32キロ）のブランド力は高い。歴史街道の観光活用が各地で取り込まれる中、全国街道交流会議が呼びかけて市町が中心となり「箱根八里街道観光推進協議会」が発足。

しかしながら、都心と直結した大量輸送による2千万人を超える観光客数の箱根町の東坂側と、県境を隔てて隣接する三島市の西坂側とでは入込みに大きな格差があるなど「箱根八里」の一体的な観光活用を巡ってさまざまな課題があった。

平成29年10月末から11月の一ヶ月間、西坂側を中心に社会実験を実施。「箱根八里」をモデルに街道沿線に共通する課題の解決策を探った。



カーシェアリング（乗り捨て）による街道歩きのための二次交通の試行（鉄道駅からのモーダルコネクトの強化）



JR三島駅、西坂側（三島市側から箱根方面）の路線バスの増便



地域住民との協働による観光客受け入れ拠点「箱根八里」案内休憩所の設営

特定非営利活動法人 全国街道交流会議

会長：森地 茂

代表理事：藤本 貴也

専務理事：古賀 方子

〒814-0015 福岡県福岡市早良区室見1-10-12-601

e-mail: info@kaido-kaigi.com <http://www.kaido-kaigi.com>